

IV 本年度の行動計画

1 教科指導の充実と授業改善を進め、生徒の学力向上と確かな学力の習得に取り組みます。

◆全日制

◎生徒一人ひとりが、自らの将来の目標を設定し、その目標に向かって日々努力できるような土台作りを行ないます。(1学年)

【取り組み状況の指標】

個人面談、学年集会、学年通信、学習計画プリント等によって、規則正しい学習習慣の確立、タイムマネジメント感覚の育成を図ります。そうすることによって、生徒に家庭学習時間を確保させると共に、自分自身の毎日の生活の振り返りをさせます。

また、担任間の意思疎通をいつも心がけ、学習指導・生徒指導・進路指導に生かします。

【達成状況の指標】

後期の学習状況調査で、平日2時間以上、休日4時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。

◎生徒一人ひとりが自分の将来の目標に向かって主体的に学習に取り組み、中心学年として誇りを持った学校生活を送れるような態度を育成します。(2学年)

【取り組み状況の指標】

個人面談、学年集会、学年通信を通して、校内での様々な活動に携わるように、また同時に自分の目標に向かって絶え間なく努力するように、訴えていきます。

また昨年度から継続している学年間の意思疎通を目的とした年間5回以上のオフサイトミーティングを実施します。

【達成状況の指標】

後期の学習状況調査で、平日3時間以上、休日5時間以上学習している生徒が、全体の60%以上になることを目指します。

◎高い目標(9割が国公立大への進学を志望)の実現を目指して、粘り強く努力する姿勢を大切にす
る指導をします。〔普通科・理数科〕

専門性を高め、医療に携わる者としての自覚と責任感を確立させるよう指導します。〔衛生看護科〕
(3学年)

【取り組み状況の指標】

生徒の粘り強く努力する姿勢の妨げとなる不安や焦りを解消するために、節目ごとの学年集会、個人の面談の実施と、月間目標の掲示、学年通信の発行に取り組みます。

【達成状況の指標】

〔普通科・理数科〕

生徒たちの多くが志望している国公立大学の合格数が、普通科・理数科卒業生数の4割以上の達成を目指します。

〔衛生看護科〕

到達度試験に全員合格の達成を目指します。課題提出が確実にできることを目指します。

◆定時制

【取り組み状況の指標】

- ・1、2年において国語・数学・英語の3教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の向上を図ります。

【達成状況の指標】

- ・生徒満足度80%を目指します。

2 入学から卒業までを見通した進路指導により、生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育の体系化を促進します。

◆全日制

◎キャリアデザインを通じたコース選択や志望校の決定をし第1志望校の合格を実現します。
(進路指導部)

【取り組み状況の指標】

校内大学説明会の充実を図ります。

キャリア教育の視点から教務部と連携して総合学習の年間計画を見直します。

難関大の中でも希望者が多い名古屋大学への進学対策講座「名大チャレンジサポート」を実施します。

【達成状況の指標】

説明会、進路講演会の事後アンケート結果において全項目3点以上(4点満点)

国公立大学現役合格者数が、普通科・理数科卒業生数の4割以上

名古屋大学現役合格者数が15名以上

3学年4月の調査における第1志望校に現役で合格した生徒が普通科・理数科卒業生数の2割以上

◎授業や校内外の研修を通して自然科学や技術開発への関心を高め、将来的に地域社会のリーダーになれる資質を身につけさせる。(理数科)

【取り組み状況の指標】

継続的な教科指導や課題研究活動、Mie SSH 事業等を利用した校内外の研修活動などへの取り組みを通して、理系キャリア教育の充実を図ります。

【達成状況の指標】

授業や校内外の研修における理数科生徒の満足度の「やや満足」以上が80%になることを目指します。

◎看護師国家試験全員合格を目標とし、思考力や判断力を養うとともに、自主的、主体的な学習習慣を確立し、学力の向上・定着を図る。(衛生看護科)

【取り組み状況の指標】

- ・学習に取り組む姿勢を育てるため、課題学習の工夫・改善を図り、課題提出を徹底させます。
- ・学習の具体的目標を持たせるため、各テストを計画的に実施し、その結果を踏まえて生徒個々に応じた個別指導を行います。
- ・専門領域の充実と、職業観育成のために外部講師を招いてキャリア教育の充実を図ります。

【達成状況の指標】

- ・学習課題の充実を図り、また、期日までに提出できる生徒の割合が100%になることを目指します。
- ・学習状況調査において、日々の学習時間「1時間以上」と80%以上の生徒が回答することを目指します。
- ・国家試験合格率100%を目指します。

◆定時制

【取り組み状況の指標】

- ・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、主体的に進路を選択できる力を身に付させます。

【達成状況の指標】

- ・生徒の有職率80%を目指します。

3 生徒指導、人権教育、健康教育を充実させ、生徒の豊かな人格形成に取り組みます。

◆全日制

◎心身の成長期にふさわしい基本的な生活習慣の確立を目指し、自主・自律した生活が送れるように指導を行います。(生徒指導部)

【取り組み状況の指標】

平常授業時には毎朝10分間校門(北門)にて遅刻指導・服装指導を行い、基本的な生活習慣の確立を身に付けさせます。また定期考査時には全職員で通学路にて登校指導を行います。校内ではあいさつの励行、身だしなみを整えるFormal Week運動を実施し品格を備えた桑高生を育みます。そして年3回全職員体制で頭髪服装指導を実施し身だしなみを整える指導を行います。

【達成状況の指標】

特に女子生徒のスカート丈の適正な長さでの着用を定着させることに重点を置き、服装指導時においてスカート丈の適正な女子生徒数が95%以上になることを目標とします。

◎差別に気付く豊かな心を育み、人権問題の解決を目指して、協調性と積極性を持って取り組めるよう指導します。(人権教育)

【取り組み状況の指標】

- ・人権便りを年5回以上発行し、生徒の日常に生じる内容を取り上げ、人権推進教育を身近に感じられるように促します。
- ・人権講演会を実施し、生命・人権を尊重する心、他人を思いやる心、共に生きる豊かな心を育みます。
- ・人権ロングホームルームを実施し、生徒が主体的に話し、相手を受容することができるよう指導します。

【達成状況の指標】

人権講演会・人権ロングホームルーム後の感想・アンケートにおいて、肯定的な意見・感想などが8割を超えることを目指します。

◎保健委員の自主的な環境美化活動を促すとともに、安全教育・健康教育に取り組みます。(保健部)

【取り組み状況の指標】

- ・保健委員へ自ら取り組むことの大切さを訴えるとともに、年間10回保健便りを発行します。
- ・保健委員による年間1回の美化活動を行います。

【達成状況の指標】

- ・保健委員の自主的な出席率90%を指標とします。

4 社会の変化に対応した教育活動に取り組みます。

◆全日制

◎生徒間の対話を深め、気づきが得られるようなキャリア教育の視点を取り入れた「総合的な学習の時間」の計画を考えることで生徒の持つ思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた状態を目指します。(教務部)

【取り組み状況の指標】

1年生は学部・学科研究を利用した自主活動を、2年生は修学旅行での班別行動をつかった自主活動を、3年生は校外研修会を使った自主活動を行います。また、対話と気づきが大切であることを訴える講演会を実施します。

【達成状況の指標】

「総合的な学習の時間」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「はい」を選択する生徒が8割を超えることを目標とします。

◎生徒の多様な興味・関心を引き出し、知的好奇心を育み、個性を深め、生きる力を伸ばす読書環境を整えます。(図書部)

【取り組み状況の指標】

図書館便りの発行回数・特集本紹介コーナーの設置回数を1月1回程度実行します。

読書感想文・ビブリオバトルへの参加を促進する。

図書委員が校内イベントを企画する。

【達成状況の指標】

生徒1人あたりの蔵書貸し出し冊数を4冊以上、年間に1冊以上借りる生徒の割合を50%以上とする。

◎保護者や地域社会への情報発信を充実させ、保護者や地域社会との連携を図ります。(情報部)

【取り組み状況の指標】

- ・HPに行事予定や進路資料、学校行事の様子などを掲載し、保護者や地域社会への情報発信に努めます。

- ・保護者メールでPTAの情報などを発信し、保護者との連携を図ります。

- ・「学校Q&A」などを利用し、中学生に本校の様子を伝えることで、地域社会への情報発信に努めます。

【達成状況の指標】

- ・年間20以上の学校行事の様子をHPに掲載することを目標とします。

- ・年間15以上の保護者メールを発信することを目標とします。

- ・年間50以上の「学校Q&A」に答えることを目標とします。

◆定時制

【取組状況の指標】

- ・生徒の「生きる力」醸成のために防災・環境・安全・健康・人権等に関する総合学習を年間35時間以上実施します。

【達成状況の指標】

- ・生徒満足度についてABCDの4段階でA、B合わせて90%以上を目指します。

5 働きやすい職場環境を作るため、総勤務時間の縮減に取り組みます。

◎生徒が生き生きと学校生活を送れるように、また教員が生徒とかかわる時間を十分確保できるように、教員間の連携を図り、業務や会議などの精選・効率化に取り組みます。(総務部)

【取り組み状況の指標】

- ・企画委員会を通して分掌間の連携を図ります。
- ・同僚と相談しながら仕事を進めていける職場づくりに取り組みます。
- ・デスクネット（電子掲示板）を有効に利用し会議時間の短縮に取り組みます。

【達成状況の指標】

職員満足度調査の人間関係の項目

- ①自由に意見を言えるような雰囲気はありますか。
- ②職員間の対話は活発に行われていますか。
- ③同僚と相談しながら仕事を進めていく体制はできていますか。

以上の数値3.0以上を目指します。

◎職員間のコミュニケーションをより活発にすることで、目指す学校像実現に向けたアイデアを出し合い、仕事を楽しく感じられる職員連携を構築し、多忙感の解消を目指します。(AKP委員会)

※AKP委員会とは、「明るい桑名高校プロジェクト」委員会の略

【取り組み状況の指標】

- ①教科指導の向上につながるような企画・研修を行います。
- ②多くの職員が参加する『望年会』（忘年会）を作り上げます。
- ③多忙感や負担感を解消したりコミュニケーションを活発にするようなAKP通信を、年間6回以上発行します。

【達成状況の指標】

職員満足度調査で、

- ①授業改善を進めていこうとする雰囲気が感じられますか（昨年2.9）
- ②学校全体として、自由に意見を言えるような雰囲気はありますか。（昨年2.8）
- ③前年度に比べ、仕事が精査されてきたという実感はありますか。（昨年2.4）

の3つの項目について昨年より高い数値をとることを目標とします。